

〔巻頭言〕

人間科学研究科紀要第15号発刊にあたって

人間科学研究科長 藤 田 千鶴子

平成16年4月開学した鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程も、15周年を迎えました。その間、平成18年度より、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会臨床心理士養成指定大学院（第1種）に認定され、以来、幅広い知識・技能と豊かな人間性を備えた臨床心理士の養成に努めて参りました。また、昨年度からは公認心理師の養成にも対応すべく、従来の「こころ」と「からだ」の両分野からの研究の統合に加え、特に実習の一層の充実に心がけてきました。

本大学院は附属の心理臨床相談センターをそなえており、地域貢献の重要な活動のひとつとして臨床心理士・公認心理師有資格者の専任教員による心理臨床相談活動に努力しております。大学院生は、学内実習の一環としてそれらを観察することから始め、陪席、専任教員によるスーパーヴィジョンのもと自らケースを担当し、カンファランスに参加することを通して、心理専門職としての資質をより深める実践の場として学んでいます。

学外における実習は精神科病院等の心理臨床関連施設、児童心理治療施設、療育施設、社会福祉施設、教育や産業保健、司法等の領域に渡る様々な施設、機関のご協力を得て、夫々の分野における豊かな専門性を備えた心理専門職による指導を受けています。

本研究科は、被害者支援、発達支援、スクールカウンセリング、高齢者支援、家族支援等様々な領域を専門とする臨床心理士、公認心理師有資格者とともに、医学、精神薬理学、福祉学、文化人類学を専門とするスタッフを擁し、教育、専門職としての心理職養成とともに、研究活動にも日々励んでおります。それらの成果のほんの一端を本号においてもご紹介できることを嬉しく思います。

開学15年を迎え、これまでの皆様のご支援に感謝しますと同時に、今後も更なる研鑽を積み心理臨床の領域への貢献に寄与できますようスタッフ一同思いを新たにしております。皆様のますますのご支援をお願い申し上げます。